

Moshi- Mosu

もっと知れば、
もっと好きになる！
長岡京市の歴史・文化財

III

かして楽しむ
長岡京

VOL. 18
2021
AUTUMN

あなたにとって大切なものは何ですか？

私たちが住む長岡京市は王城の地であり、様々な歴史文化が色づくまちです。しかし、近年は急速な開発や災害などの予測不能な事象が発生し、変化の激しい時代がやってきています。未来のことはわかりませんが、過去を知ることが未来への希望を与えてくれます。歴史文化とは、有名な史跡や文化財だけではなく、私たちの生活も歴史の一部であり、あなたが残したいものでもいいのです。

さあ、歴史文化をもっと、みんなのものに。

TO SHARE
HISTORY
AND
CULTURE
WITH EVERYONE...

長岡京市文化財保存活用地域計画

WORKSHOP

ナガオカキョウシ ノ レキシブンカヲ ミライ ヘ ヲナグルタメニ

市民ワーク ショップ

Local Guide Group

長岡京市ふるさとガイドの会

(内から見た歴史文化の視点)



京都府立大学上杉研究室
(外から見た歴史文化の視点)

University Student

市民ワークショップは、市民の皆さんの視点（内から見た視点）と京都府立大学上杉研究室の学生（外から見た視点）で、意見交換を促進し、本市の歴史文化をテーマストーリーなどとして捉えるヒントを探っていくものです。第1回にガイドの会から市内の歴史文化の概要説明、第2回は6～7月に市内各地のフィールドワーク、第3回にフィールドワークの結果を報告する公開報告会を開催しました。

Guided Tour



第1回「ガイドツアーを体験しよう」

長岡京市ふるさとガイドの会の日常の活動や市内のおすすめスポット、地元に残る伝承などの説明がありました。テーマ性をもったガイドコースの例などが紹介され、フィールドワークで確認する地域ルートなどを話し合いました。

長岡京市の文化財やその周辺環境を含めた歴史文化は、全国的にも恵まれた豊富な資源があり、指定・登録されたもの以上に秘めた魅力をもっています。そこで、もったきちんと歴史文化を“見える化”することで、市民の皆さんとともに魅力を磨き活かして次世代へつなげていきたいと考えています。

令和2年度からは、これまでに行った地理・歴史・民俗・考古学の調査成果を取りまとめた「長岡京市の文化財リスト」を作成しています。令和3年度は、市民目線で身近なものも「地域の宝」として、歴史文化の構成要素に組み込んでいきます。長岡京市ふるさとガイドの会と京都府立大学上杉研究室（歴史地理学・文化的景観学）の協働による市民ワークショップは、内から見た「地元が伝えたい歴史文化」と外から見た「新しい視点」を加えることができます。そして、これらを基にした文化財の枠にとらわれない自由で独創的な長岡京市らしいテーマやストーリーのヒントを探っています。

FieldWork 第2回「気づきを掘り下げよう、 つなげよう！」



長岡天満宮と八条ヶ池
長岡天満宮
千手堂マツラジ
八条ヶ池

【市指定有形文化財】
【市指定歴史建造物】
【緑地景観大賞】

Check!!



長岡天満宮 鐘景苑

こんな所に大きな石碑があるやん。何て書いてあるんやろ？



街道と町家（神足ふれあい町家）
旧石田車庫
西国街道

【国登録有形文化財】
【長岡京市景観計画に基づき「街道景観」

Check!!



国登録文化財 佐藤家住宅

丹波街道の近くには、風情ある景観が残ってるんや！



走田神社から天王山（西山）を望む
鞍馬園舎御力立立尊と緑松石室
鞍馬園のモリスラテララ特
走田9号電石立

【国指定有形文化財】
【国登録歴史建造物】
【市指定史跡】

Check!!



調子八角の道標

町のあちこちに道標が立っていて、おもしろいな。

第3回「テーマ・ストーリーのヒントを見つけよう！」 Open Briefing



フィールドワークの成果について、7月31日（土）に公開報告会を開催しました。3つの色が様々な文化財を歴史文化のテーマやストーリーで関連付けた発表は、斬新で魅力的なものでした。市民参加者との意見交換でも、新しいアイデアや課題を発見することができました。

Team-1

長岡京 水の歴史文化

- 水を求めよう
- 水を使う
- 水と共生する

Team-2

はじまりの歴史文化

- 長岡のあけぼの
- 美しき浄土の境
- 再びむく竹文化

Team-3

そらづくし 町の歴史文化

- 豊かな水と緑にめぐまれたあちこ
- 再生と創造を繋ぎ分かつあちこ
- 竹の葉のささやきが聞こえるあちこ

勝龍寺要亭之儀

付而桂川より西

在り所々門並人夫

参り日之間被申

付可有普請事

簡要候仍如件

元元式

十月十四日 信長

細川兵部大輔殿

勝龍寺城

築城450年祭



450

2021年は、元亀2年（1571）に織田信長の命を受け、細川藤孝（幽斎）が勝龍寺城の大規模な改修を行ってから450年の節目を迎えます。勝龍寺城は、近年の研究によって、織田信長の安土城に先行して「瓦・石垣・天主」を備えた「近世城郭の原点」とも言える先進的な城づくりが行われていることが明らかになりました。また、明智光秀の娘・たま（ちのガラシャ）が新婚時代を過ごし、本能寺の変の後、羽柴（豊臣）秀吉との「山崎の戦い」に敗れた光秀が最期の夜を過ごした場所とされています。長岡京市ではこれらに関連したイベントを開催しています。

勝龍寺城築城450年企画展

『瓦で見る近世城郭の原点』

「石垣・瓦・天主」をもつ最初期の城である勝龍寺城で用いられた技術について、同時代の城郭の瓦から、近世城郭の原点に迫っていきます。

■主な展示品

- ・坂本城軒瓦（大津市埋蔵文化財センター所蔵）
- ・安土城出土金箔瓦（滋賀県所蔵）
- ・勝龍寺城出土軒瓦（本市所蔵）

- 期間 令和3年9月25日（土）～令和3年12月19日（日）
- 時間 午前9時～午後6時（～10月）、午前9時～午後5時（11月～）
- 場所 勝龍寺城公園管理棟2階展示コーナー

ガラシャウィーク記念講演会

『戦国時代の西岡と藤孝・光秀』

一熊本に伝わった古文書を中心にー

- 日時 令和3年11月14日（日）午後1時00分～3時30分
- 場所 京都府長岡京記念文化会館
- 講師 熊本大学教授 稲葉 龍隆さん
- 主催 ガラシャ祭実行委員会
- 共催 長岡京市・長岡京市教育委員会
- 申込み 往復はがきが必要事項を記入して郵送。
※詳細は下記へお問い合わせください。
- 問い合わせ ガラシャ祭実行委員会事務局（市役所内）
〒617-8501 京都府長岡京市開田一丁目1番1号
☎075-959-1299

要申込み
抽選で400名
無料

長岡京市歴史講演会

『文献資料から見た勝龍寺城』

- 日時 令和3年11月23日（火・祝）午後1時30分～3時00分
- 場所 長岡京市立産業文化会館大会議室
- 講師 本市文化財保存活用課 生嶋 輝美
- 主催 NPO 法人長岡京市ふるさとガイドの会
- 共催 長岡京市教育委員会
- 問い合わせ NPO 法人長岡京市ふるさとガイドの会

※お申込みは、(FAX) 075-954-5523または、
(メール) nagaokakyojyuide@yahoo.co.jp

要申込み
先着30名
無料代300円

長岡京市歴史資料集①

『勝龍寺城関係資料集』

一四コマ漫画「光-meter」の元ネタはこれだー

細川藤孝が織田信長の命をうけて改修した城として知られる勝龍寺城。この城の萌芽から、勝龍時代を経て、虎城になるまでの歴史を一冊にまとめました。



- 申込み・問い合わせ 窓口（図書館3階）またはメール・FAXでお申込みいただけます。
<文化財保存活用課>
☎075-954-3557 FAX075-954-8500
メールbunkazai@city.nagaokakyo.lg.jp

絶賛販売中！
2000円（送料別）

明智光秀の活躍が描かれたNHK大河ドラマでメジャーになった？勝龍寺城は、今年、築城？から450年を迎えるようです。正確には「築城」ではなく「改修」ですが・・・それはさておき、6月頃から本市の歴史文化について、京都府立大学の学生たちがまちを歩いて新たな魅力を探ってくれています。本来は多くの市民の方々にも参加していただく計画でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小しました。それでも、学生たち目線の新たな気づきから、「文化財保存活用地域計画」の核となるテーマストーリーにどのようなオリジナリティを出せるか今後が楽しみです。

『Moshi-mosu（もしもす）』は、長岡京市教育委員会が発行する歴史・文化財情報紙です。「もしもす」とは、「もっと知れば、もっと好きになる」の意味です。これまでのバックナンバーは、市のホームページでご覧いただけます。



『Moshi-mosuⅢ』 vol.18

発行：長岡京市教育委員会文化財保存活用課 京都府長岡京市天神4丁目1番1号/令和3（2021）年9月